



生活協同組合コープこうべ
組合長理事

本田 英一

組合長理事あいさつ

コープこうべでは、組合員の皆さんとともに環境問題に長年取り組んでまいりました。取り組むテーマは時代時代で変化してきましたが、最近では地球温暖化に伴う異常気象、原発事故後のエネルギー問題、そして食や生物多様性の問題など次世代の暮らしを脅かす事象が顕在化してきています。組合員とともに持続可能な社会を目指す生協として、次世代につながる取り組みを進めていく必要があります。

本誌では、このような思いで2015年度に取り組んだ再生可能エネルギーの拡大や新たな電力事業の取り組み、リサイクルの新たな取り組みについて概要をご報告しています。

組合員の皆さんと現在の到達点を共有し、様々なご意見やご提案もいただきながら、未来づくりを組合員の力で進めていきたいと考えています。ぜひ、お力をお貸しいただきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

2016年7月

コープこうべ概要 (2016年3月31日現在)

名 称	生活協同組合コープこうべ
設 立	1921年(大正10年)
所 在 地	〒658-8555 神戸市東灘区住吉本町1丁目3番19号
出 資 金	377.6億円
組合員数	1,683,882人
組 織 率	50.4% ※活動エリア内世帯に占める組合員世帯の割合
活動エリア	兵庫県全域・京都府京丹後市・ 大阪府豊中市、箕面市、池田市、吹田市、茨木市、 高槻市、摂津市、能勢町、島本町、大阪市淀川3区
主な事業	組合員世帯を対象に、 商品の生産・供給事業および教育・学習を行い、 生活文化の向上を図る事業など
供 給 高	2,401.0億円
生産事業高	87.0億円
総職員数	9,434人
事 業 所	住吉事務所/1か所 地区活動本部/7か所 店舗事業/162店舗 宅配事業/25事業所 食品工場/1か所 物流センター/7センター その他/38事業所

コープこうべ環境憲章

有史以来、私たちは自然界の恩恵を受け、自然との共生を図りながら生きてきました。しかしながら、今や私たち人間が環境に与える影響は極度に増大し、地球環境を大きく破壊しつつあります。これは人類の生存をも脅かす重大な問題です。

この地球は私たちが祖先から受け継いだものであると同時に、子孫から託されているかけがえないものです。地球環境を守るためには、私たち一人ひとりが生活スタイルを見直すとともに、事業のあり方を変革し、行政・企業・消費者が力を合わせて環境保全型社会への転換を図っていくしかありません。

コープこうべは、暮らしを守るという生活協同組合の目的にそって、環境問題解決のために全力をつくすことを誓い、「コープこうべ環境憲章」を以下のとおり定めます。

基本理念

地球環境はすべての面で有限であり、私たち人間は其中で活動せざるをえません。コープこうべの組合員・職員の一人ひとりはそのことを認識し、限られた地球環境の中で自然と共生していくという思いを大切に持ち続けていきます。

創立以来、コープこうべは組合員の暮らしを守るための運動を展開してきました。今後さらに、環境問題を“暮らしのあり方、社会システムのあり方を問う意識変革の問題”と認識し、“健康・福祉・平和”を守る運動とともに、生協運動の根源的課題として、事業活動も含めて先進的な取り組みを積極的に展開していきます。

行動指針

生協は、消費者運動としての側面と同時に事業体としての側面をもっており、その両面で環境保全への取り組みを推進していきます。

コープこうべは以下の方針を基本として、組合員と職員が一緒になって考え、悩み、創造し、行動するとともに、環境保全活動や環境負荷に関する情報を公開していきます。

1. **くらしの見直し運動をすすめ、環境保全型社会への転換を推進します。**

2. **事業活動から発生する直接・間接の環境負荷の低減を推進します。**

- ① 環境に配慮した事業体への転換を図ります。
- ② 環境に配慮した商品の開発・改善を図ります。

1996年5月31日 生活協同組合コープこうべ 第76期通常総代会

コープこうべの環境への取り組みはホームページで詳しくご紹介しています

<http://eco.coop-kobe.net/>

コープこうべの環境活動

検索

データ集 <http://www.kobe.coop.or.jp/ecoreport/index.html>



「生活協同組合コープこうべ 2016環境報告書」

編集・発行/生活協同組合コープこうべ 企画政策部 環境推進

TEL: 078-856-2068 FAX: 078-856-1700

<http://www.kobe.coop.or.jp/>

2016年7月発行